

整理番号	2-3-2-1
------	---------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・ 落合慎悟)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	日本教育新聞購読料		
年月日	令和 2年2月 6日～令和 年 月 日	金額	2,750 円

目的	県政社会情勢に関する情報収集
使途	2月分購読料
政務活動・ 県政との 関連性	県政等の情報を収集し、静岡県の教育政策に活用する。




《領収書貼付枠》

≡						3		
年月日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差引残高	備考			
1	2-01-24	BA						
2	2-01-31	FF						
3	2-02-06	BF					*2,750	SMBC(ニホンキョウイ)
4	2-02-07	BF						
5	2-02-15	AF						
6	2-02-17	BF						

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
すべて政務活動に使用	2,750 円	100%	2,750 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号	2-3-2-2
------	---------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・落合慎悟)

経費項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請情報費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	公明新聞購読料		
年月日	令和2年2月5日～令和 年 月 日	金額	1,887 円

目的	県政社会情勢に関する情報収集
使途	2月分購読料
政務活動・ 県政との 関連性	県政等の情報を収集し、庶民的政策等の情報を静岡県 of 県民政策に活用する。

《領収書貼付枠》

新聞購読料 領収証


落合 慎悟 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2020年2月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1887	1	1,887



販売店 大塚 秀訓
住所 藤枝市青南町4-9-45
TEL 054-631-9270 FAX 054-631-9271

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動に使用	1,887 円	/	1,887 円
		100%	

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号	2-3-2-3
------	---------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・ 落合慎悟)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	日経新聞電子版+産業新聞ビューア		
年月日	令和 2年3月10日~令和 年 月 日	金額	7,427 円

目的	県政社会情勢に関する情報収集
使途	2月分購読料
政務活動・ 県政との 関連性	県政等の情報を収集し、静岡県 ^の 経済・産業政策に反映させる。

《領収書貼付枠》

日経新聞 (宅配+電子版+日経産業新聞ビューア)

JCBカード支払い 日経ID決済 2/1 月額7,427円

		All-in-one決済 受付の方から戻してください		普通預金 (通帳控え印刷)	
摘要(お書きまわす):		お引き出し金額	お預け入れ金額	お預け入れ残高	取込店
01	02-02-06				
02	02-02-10				
03	02-02-10				
04	02-02-13				
05	02-02-21				
06	02-02-24				
07	02-02-28				
08	02-03-04				
09	02-03-04				
10	02-03-06				
11	02-03-10	JCB カード	26,393		120
12	02-03-15				

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動に使用	7,427円	100%	7,427円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号	2-3-2-4
------	---------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・落合慎悟)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	しんぶん赤旗 購読料		
年月日	令和2年2月5日～令和 年 月 日	金額	930 円

目的	県政社会情勢に関する情報収集
使途	2月分購読料
政務活動・ 県政との 関連性	県政等の情報を収集し、庶民的政策等の情報を静岡県での県民政策に活用する。

《領収書貼付枠》



按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動に使用	930 円	100%	930 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号	2-4-2-5
------	---------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・落合慎悟)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	地震・津波対策を考える議員連盟 県外調査		
年月日	令和2年 2月17日～令和2年2月18日	金額	60,410円

目的	地震津波対策の調査
使途	交通費、宿泊費
政務活動・ 県政との 関連性	静岡県地震津波対策の研究調査視察

《領収書貼付枠》

静鉄観光サービス株式会社
合計 60,410円

ご利用明細 静岡銀行

ご利用ありがとうございます。
内容をご確認いただきお持ち帰りください。

年月日	振替先店番・科目・口座番号	128
02/02/17		
銀行番号	店番号	科目
お取扱店	お取引内容	お取引金額
0124	お引出し	¥60,410
お取扱枚数		
	おつり	残高
キャッシング	手数料	時刻
	¥330	09:55 01:80

お振込先明細
シス`オカ
ホンテン
普通 0775568
シス`テツカンコウサ-ビス(カ 様
オチアイ シンゴ` 様
TEL

06.520.38 (裏面もご覧ください)

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
すべて政務活動に使用	60,410円	100%	60,410円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

2024.2.17

令和 年 月 日

予約番号:705552

落合 慎悟 様

〒420-8509 静岡市葵区追手町2-12

静鉄観光サービス株式会社

代表取締役社長 中澤 直樹

担当者: [REDACTED]

TEL:054-251-6415/FAX:054-251-6710

【御請求書】

期 間:令和2年2月17日(月)~18日(火)

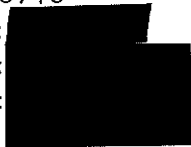
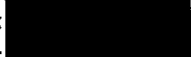

件 名:和歌山県庁・和歌山県防災センター・神戸人と防災未来センター 視察

項 目	単 価	数 量	小 計	摘 要
【交通費:JR代(普通指定席利用)】				
JR券代(2月17日藤枝~静岡~和歌山/2月18日新神戸~静岡~藤枝)	27,110	1	27,110	
【現地交通費】				
現地交通費:和歌山~神戸市内~新神戸駅	16,800	1	16,800	
【宿泊費】				
2月17日:宿泊費(和歌山市内)	16,500	1	16,500	シングル利用
合 計			¥60,410	税込価格
ご入金額			¥60,410	
今回ご請求金額			¥0	

作成日 2020年2月16日

落合 慎悟 先生 視 察 日 程 表

タイトル : 和歌山県庁訪問と神戸 人と防災未来センター視察
 団体名 : 静岡県議会 地震・津波対策を考える議員連盟 様
 幹事様 : 鈴木 澄美 様 電話 054-221-2566
 ご一行様 : 13名男 0名女 0名




観光庁長官登録旅行業第153号日本旅行業協会会員
 静鉄観光サービス株式会社本店営業部
 所在地 静岡市葵区追手町2-12
 TEL 054-251-6415
 FAX 054-251-6710
 総合旅行業務取扱管理者 : 
 責任者 : 
 担当者 : 

旅行日	行程
2020年2月17日～2月18日	1泊2日

月日	行程
1 2月17日 (月)	藤枝9:43 ■■■東海道線■■■10:02静岡10:11 ■■■ひかり465■■■12:00新大阪 新大阪12:15 ■■■くろしお11号(車中弁当)■■■13:15和歌山——タクシーにて—— *和歌山市湊通丁北1-2-1 ——和歌山県庁南別館(視察訪問)——タクシー——ダイワロイネットホテル和歌山【泊】 14:00～16:30 宿泊先:ダイワロイネットホテル和歌山 〒640-8156 和歌山県和歌山市七番丁26-1 TEL 073-435-0055
2 2月18日 (火)	ホテル——貸切バス——阪和道・阪神高速道路——神戸 人と防災未来センター—— 8:30 10:30～12:00 ——新神戸駅13:52 ■■■のぞみ26■■■14:55名古屋14:59 ■■■こだま662■■■ 12:45 ■■■16:17静岡16:30 ■■■東海道線■■■16:49藤枝 *新型コロナウイルスの関係で2日目の視察先が変更になりました。

*この計画は 2月16日 現在のスケジュールです。各地の道路事情等により、行程が変更になる場合があります

ご宿泊利用 予定ホテル	地名	利用施設	備考
	和歌山市内	ダイワロイネットホテル和歌山 住所:和歌山市七番丁26-1	洋室シングル利用 TEL:073-435-0055

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県外調査概要書</p> <p>令和 2年 2月 19日</p> <p>会派名 自民改革会議 議員氏名 落合愼悟</p>						
目的	地震津波対策調査					
年月日	令和 2年 2月 17日～18日					
場所	和歌山県防災センター、神戸市「人と防災未来センター」					
内容	<p>自民改革会議地震・津波対策を考える議員連盟の県外視察のため、 1.2.3 は別紙 「加藤議員提出 1-15-2-3 を参照」</p> <p>4 県政への反映 和歌山県防災センター</p> <p>和歌山県の津波対策「津波から『逃げ切る!』支援対策プログラム」について。 和歌山県は[津波から住民を救い、死者をゼロとする]を基本に策定されている。 内容は、東海・東南海・南海3連動地震の津波到着時間と最大津波高、南海トラフ巨大地震の津波高1m到着時間と最大津波高が沿岸市町の比較確認できる津波浸水想定地図があり、沿岸市町の緊急避難場所への避難経路などが明確になっている。</p> <p>また、気象庁から津波の予報業務許可を取得し、沿岸市町等に災害対応のための津波予測情報を沿岸全市町98か所に提供されていた。</p> <p>静岡県の津波対策は主としてL1津波を防ぐための静岡方式堤防建築を進めており、被災死者8割減を目指している。静岡県は死者ゼロではない。</p> <p>和歌山県とは、いかに県民を守るかの基本的な姿勢が違っている。高知県も和歌山県と同様に県民の死者ゼロを目指し津波対策を行っていた。</p> <p>静岡県民を津波から守るため、いつ来るかわからない津波に対し、県民死者ゼロを目指し進めていくよう政策提言をしていく。</p> <p>さらに、津波予測システムの静岡県防災活用も研究していく。</p>					

神戸市「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」

シアターでは、特撮とCGを駆使して地震発生の瞬間を再現していた。

25年前の阪神淡路大震災発生当時、私は藤枝市議会議員で、1月17日早朝の地震で飛び起き、すぐにNHKのテレビ報道を見て、被災状況に驚いた。

いくつもの鉄筋の建物が崩れ傾き道路をふさぎ、木造住宅の多くが完全に倒壊していた。阪神高速道路が倒れたり、線路が曲がり電車が傾き大変な状況でした。

その悲惨な惨状を確認のため、三日後、自家用車に自転車を積んで現地に赴き、新神戸駅前の駐車を寝泊まりの場として4日間、被災状況調査と避難所などの状況などを確認した。また、学校などの避難所ではトイレが使えないため、設置された仮設トイレを使用する人たちが多くて、すぐに満杯で使えなくなるため、地元の方と川から水を何回も汲んできて、山盛りとなった便を水で川に流し、トイレを使えるようにしてあげました。食事は避難所で配られたおにぎりを頂き、ボランティアをしながら長田区から西宮まで自転車で視察した。

まだ日本ではこれほど大きな災害が起きたことがないため、広域防災組織的に機能していなかった。しかし、各学校に設置された避難所では、自治会長や町内会長が陣頭指揮を執り避難している人たちを面倒見ていた。

災害時の避難や保護活動を確実にしていくためには災害時の体験ができる防災センターの役割が大きい、静岡県の防災センターもこの3月に完成する予定であり、大いに期待をしている。

整理番号	2-4-26
------	--------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証 拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・落合慎悟)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	自民改革会議 観光振興議員連盟 県外調査		
年 月 日	令和2年 2月24日~令和2年2月25日	金 額	55,420 円

目 的	観光振興対策調査
使 途	交通費、宿泊費
政務活動・ 県政との 関連性	静岡県観光振興対策の研究調査視察
<<領収書貼付枠>> 株式会社 遠鉄トラベル 合計 55,420 円	

2020年2月25日 156668

領 収 証

落合 慎悟 様

金 額	百万	千	円	
	7	55	420	現金・小切手・振込・旅行券・クレジット・その他

但し

2020.2.25 静岡県議会
観光振興議員連盟視察研究費用として

上記金額正に領収致しました。




株式会社遠鉄トラベル
静岡県浜松市中央区旭町12-1

取扱者

◎本証は社印並びに取扱者印のないもの及び金額訂正のものは無効です。

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
すべて政務活動に使用	55,420 円	/	
		100%	55,420 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県外調査概要書</p> <p>令和 2年 2月 26日</p> <p>会派名 自民改革会議 議員氏名 落合慎悟</p>						
目的	観光振興対策の研究調査					
年月日	令和 2年 2月 24日～25日					
場所	広島県広島市せとうちDMO、尾道市空家再生プロジェクト					
内容	<p>自民改革会議 観光振興議員連盟の県外視察のため、 1.2.3 は別紙 「鈴木議員提出 3-14-2-1 を参照」 (参考)</p> <p>4 県政への反映</p> <p>せとうちDMO 瀬戸内を囲む7県が合同して瀬戸内海全体の観光ブランド化を推進している。 中心的な役割は広島県が担っており、主として海外観光客誘致を目指している。 瀬戸内海を取り巻く観光環境は、しまなみ海道や瀬戸大橋、小豆島など島々が数多く存在しており、さらに歴史的にも名所旧跡が多く残っている。 そのため観光誘客のためのブランド化は、しやすい環境にある。 静岡県の場合、神奈川県や愛知県と協力して何かブランド化ができる環境にはないと思う。静岡県の場合は、伊豆を中心とした地域と駿河湾を取り巻く地域、浜名湖を含む遠州灘地域に分けてならブランド化できると思う。 しかし、各地域のみで多くの誘客を呼び込むだけの魅力ある環境は見当たらないと感じる。 今回のせとうちDMOを参考に、魅力ある発想で静岡県観光誘客構想を考えていきたいと思う。</p>					

尾道の観光空家対策

25 年間放置され、解体の危機にあったこの建物を「何とかして残したい」との思いが、2007 年に空き家再生プロジェクトが立ち上がったきっかけとなった。

もともと瀬戸内海に面した港町で古くから栄えていたため、商店街を中心に、狭い斜面に多くの住宅が建てられていた尾道。建て替えが困難な古い物件が多く残されていた事と合わせて、地元美術大学の学生やアーティストたちの自由な発想を受け入れやすいといった背景がある。

尾道駅の裏手にある「三軒家アパートメント」は、時代の流れから空き家になってしまった昭和の古いアパートをリノベーションした施設。わずか 10 坪の急斜面に残されていた旧和泉家別邸（通称：尾道ガウディハウス）も、昭和初期の日本では珍しかった装飾やデザインがあちらこちらに見られ、異国情緒と大工さんのこだわりが感じられる建物。坂の町「尾道」は、ユニークな空き家再生の成功事例として全国的に注目を集めている。

尾道の坂道に点在する家々は、ヨーロッパの坂道に点在する赤い屋根の家々と雰囲気似ている。だから狭い路地の坂道に点在する空き家を活用し、西欧風にアレンジして若い女性たちの観光客を呼び込むことができている。

たまたま現地で出会った静岡市から来た 30 代の女性二人連れに、「なぜ来られたのか」の質問したところこの尾道には古民家を再生し、かわいらしい店が何件もあるという情報を得たから会社の休暇を利用してきたとのことでした。

静岡県では空家を観光用に活用できる場所は見当たらないが、街の再生の時に参考になるだろう。そして、熱く情熱をもって取り組む人がいないと何事も成就しない、尾道の場合は尾道出身の女性が海外旅行のツアーコンダクターを経験し、尾道が西欧の街の雰囲気に似ていることに気が付き、行動を始めたことで現在に至っている。

街づくりにはコンセプトが必要で、こだわるから人を引き付けるのだと感じた。